

事業名 ひょうごっ子野外活動推進事業

団体名 兵庫県

背景・課題

低年齢の子どもにもインターネット等の利用が急速に進む中、子どもの外遊び等の機会の減少により健康面・精神面への影響が危惧される。

事業趣旨

兵庫県において重点的に支援してきた子どもの野外活動の一層の推進を図るため、既存の「子どもの冒険ひろば事業」のあり方を検証し、活動を支援する体制を構築する。令和6年度は、前年度作成事業スキーム案（「子どもの遊び体験サポーター制度」(仮称)）に沿ってモデル事業を実施する。

事業の内容

【実施内容】

- 「子どもの遊び体験サポーター」協議会
淡路地域、阪神北地域 各3回実施
- 子どもの外遊び、体験活動イベント
淡路地域、阪神北地域 各3回実施
- プレーワーカー養成研修
淡路地域にて合同開催（1回）
- アンケート・ヒアリングの実施
アンケート:企業15社、活動団体9団体
ヒアリング:企業5社、活動団体5団体を対象に実施

【子どもの外遊び、体験活動イベント実施結果】

淡路地域 参加者数
 第1回目：11名
 第2回目：15名
 第3回目：23名
 阪神北地域
 第1回目：56名
 第2回目：18名
 第3回目：112名
 口コミやSNSで評判を呼び回を重ねるごとに参加者数が増加した。

【課題】

- ・企業が参加しづらい
- ・「居場所」としての機能が薄まる可能性がある
- ・活動団体と企業のマッチングが困難

【改善策】

- ・プラットフォームの導入
- ・企業と活動団体の関係を「共創型」に再設計
- ・コーディネーターの設置

【成果の普及方法】

- ・県HPにおいて実施結果を検討途上の中間報告として情報発信予定

成果及び今後の展開

【成果】

- ・モデル事業、ヒアリングを通して、共同運営をする上での課題が明らかになった。課題を踏まえた改善点を協議することで、体制構築に向けた検討が進展した。
- ・モデル事業を通して、地域住民・地元企業・地域団体が検討に参画することにより、地域全体で子どもを育てる意識が醸成された。

【今後の展開】

- ・令和6年度における成果を踏まえ、推進委員会にて令和7年度も体制構築に向けた検討を継続。
- ・令和7年度に最終案をとりまとめ、令和8年度の制度開始を目指す。
- ・令和8年度の制度開始後は、県内各地域において、地元企業や地域団体の支援により、地域主体で子どもの外遊び・体験活動の取組が実施され、実績を積むに従い、さらに各地域に展開していくことが期待できる。